

私と山登り

松尾武久

私が山登りを始めたのは、高校時代でした。ですからもうかれこれ 55 年以上も続けていることになります。

故郷は滋賀県の大津でしたから琵琶湖の西にある比良山連山がフランチャイズでした。1000m級の山々でしたが自然が豊かで、四季折々に楽しい登山が出来ました。

本格的な山登りは大学時代の山岳部から始まりました。山の国である長野県の大学でしたから、環境は抜群で、年間に 150 日は山に入っている生活でした。北アルプス、南アルプス、中央アルプス、八ヶ岳と色々なところに行きましたが、中心は穂高連峰で特に前穂高岳東壁の奥又白谷は、谷の隅々まで頭の中に入っているのが誇りでした。(写真は私の青春時代の思い出の山々です)

社会人になってからは、名古屋時代は鈴鹿の山々、大阪時代は六甲山、大台ヶ原、東京時代は谷川岳、奥秩父、東北の山々と全国の山々を歩きました。

ヒマラヤにも憧れを抱いていましたから、1971 年、大学創立 20 周年記念でアンナプルナⅡ峰 (7937m) に挑戦できたのも、得難い経験でした。頂上直下まで迫ったのですが、失敗に終わりましたが、初めてのヒマラヤに足を伸ばせたことは思い出深い経験となりました。(写真は 2007 年、ゴーキョピーク (5360m) 頂上で、エベレストをバックに高校時代の親友と一緒にの写真です。また、2009 年、40 年ぶりにアンナプルナⅡ峰と会った時の写真です)

最近では 1～3 月はスキー、5 月は残雪の徳本峠越、7 月は縦走形式の山歩き、8 月は上高地小梨平でのキャンプ、10 月～11 月は東北方面の山々と、一年中楽しんでおります。登り方も変わってきて、体力任せの登山から花鳥風月を楽しむ山登りになっております。

百名山は自分の中ではあまり価値はないのですが、北海道の山々 9 座、九州の南の 3 座は未だ登っていませんし、屋久島の宮之浦岳へも行きたいと思っています。そんなことを考えていると、まだまだトレーニングを続けて、これからも好きな山登りに挑戦していきたいと思っています。